

## 審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	第1回松阪市斎場及び火葬場あり方検討委員会
2. 開 催 日 時	平成29年5月26日(金) 13時30分～ 15時30分
3. 開 催 場 所	松阪市役所本庁舎本館 5階特別会議室
4. 出席者氏名	(委 員) 川嶋幸夫(委員長)、泊瀬川孚(副委員長)、大谷久美、 小山利郎、吉田敏昭 (事務局) 荒川環境課長、寺脇飯南飯高環境事務所長、北村嬉野地域振興 局地域住民課長、田口三雲地域振興局地域住民課長、藤原墓苑 係長、小林斎場計画担当主査
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	1名
7. 担 当	松阪市環境生活部環境課 篠田山斎場 小林 TFL 0598-29-1317 FAX 0598-29-1317 e-mail kan.div@city.matsusaka.mie.jp

### 協議事項

1. 委嘱状の交付について
2. 委員長・副委員長の選任について
3. 松阪市火葬場整備基本計画について
4. その他

### 議事録

<http://www.city.matsusaka.mie.jp/www/contents/1450224942063/index.html>

平成 29 年度 第 1 回 松阪市斎場及び火葬場あり方検討委員会 議事録

日 時：平成 29 年 5 月 26 日（金） 13 時 30 分～15 時 15 分

場 所：松阪市役所本庁舎本館 5 階特別会議室

出席者： 名

**検討委員会委員 5 名**

川嶋幸夫（委員長）、大谷久美（副委員長）、泊瀬川孚、小山利郎、  
吉田敏昭

**事務局 6 名**

荒川環境課長  
寺脇飯南飯高環境事務所長  
北村嬉野地域振興局地域住民課長  
田口三雲地域振興局地域住民課長  
藤原墓苑係長  
小林斎場計画担当主査

傍聴者：1 名

**<議 事>**

**1. 委嘱状の交付について**

永作副市長から各委員に対して委嘱状を交付  
委員及び事務局自己紹介

**2. 委員長・副委員長の選任について**

委員長は委員の互選により選任することになっている。

また、副委員長の選任は、松阪市斎場及び火葬場あり方検討委員会設置要  
綱第 7 条第 3 項により、委員のうちから委員長があらかじめ指名することと  
なっている。

委員長、副委員長の選任について、どうか。

**委員**

事務局に一任してはどうか。

**事務局**

事務局一任の意見を頂戴したが、どうか。

**委員**

異議なし

松阪市斎場及び火葬場あり方検討委員会の委員長を川嶋委員に、副委員長を大谷委員にお願いしたい。

### 3. 松阪市火葬場整備基本計画について

※松阪市火葬場整備基本計画について事務局から説明

#### 委員長

事務局の説明に対し、意見や質問はあるか。

#### 委員

本計画（案）は全国の火葬場の建て替え時期を調査した結果、平均 40 年弱で建て替えられていることから、各火葬場の建て替え時期を経過年数 40 年としてあり、篠田山斎場については平成 39 年度に建て替える案になっている。

飯南火葬場については、建設時の地元との合意により 30 年間の使用となっているが、嬉野斎場が平成 50 年度までの使用となっていることから、篠田山斎場建て替え後も嬉野斎場を併用していくのかが大きな論点になってくるものとする。

#### 委員長

今回は初回ということもあるので、論点を絞って議論していくのではなく、みなさんが資料を見ていただいて分からない点を確認していくということで進めていきたい。

#### 委員

将来の死亡者数予測について、2040 年までの予測となっているが、ピークは何年頃と推定されるのか。

それによって 8 炉が適当か、廃止を計画している火葬場の廃止時期をいつにするのかの判断ができるのではないか。

#### 事務局

次回の検討委員会までに資料を準備する。

#### 委員

本計画（案）を策定するに当たって、日本環境斎苑協会の「マニュアル」を参考にしたとあるが、この「マニュアル」は標準的なものか。

ほかに「マニュアル」はないのか。

## 事務局

他市においても火葬場を建設するに当たって参考にされている「マニュアル」である。

## 委員

三雲火葬場の廃止時期が一番直近であることから、三雲火葬場についての議論から始めていくべきではないか。

最終的に篠田山火葬場一か所に集約する案になっている。

人口密度から考えると当然のことと思われるが、市域が広いので、参列者の移動にも時間がかかることになる。

住民の理解を得られるのか。

## 委員

飯南火葬場より西の地域の人口密度は低いのか。

人口密度が低くなると利用者数が少なくなるので、篠田山斎場を利用してもらえば良いという考え方もあるのか。

## 事務局

飯南火葬場は建設後 30 年間の利用という制約があることから、その地域の住民の方々については、飯南火葬場廃止後は篠田山斎場を利用させていただくことになると考えている。

## 委員

現在、飯高管内の住民の方は飯南火葬場を利用されているのか。

飯高管内の住民の皆様にお話を伺ったところ、「高齢化が進んでおり、あまり遠い距離を移動するのは困難である」との意見もあった。

## 委員

地域が運営している火葬場の一つを残して対応していくことはできないのか。

これらの火葬場は、将来的にすべて廃止する考えか。

## 事務局

これらの火葬場については、市と地区火葬場管理者が取り交わした合意書により、100 万円以上の修繕が発生した場合、閉鎖も含めて検討するものとなっている。

元々、飯高管内には 8 箇所火葬場が存在していたが、統廃合等について

検討していくなかで、「使えるものについては長く使っていこう、ただし、高額な修繕は行わないようにしよう」ということで100万円という金額を基準として地域の中で申し合わせがなされたもので、それ以上の修繕が発生した火葬場から順次廃炉にしてきている。

### 委員長

飯南火葬場があるという前提で、地元管理の火葬場はなくても良いという考え方ではないのか。

### 事務局

飯南飯高管内は過疎化、高齢化しており、葬祭のやり方も以前とは変化してきている。

子どもが本庁管内に居住しており篠田山斎場を使用する方も増えてきていることから、飯南火葬場ありきということではなく、飯南火葬場と篠田山斎場を両方ご利用いただいているのが現状である。

### 委員長

飯南火葬場で平成27年度中に134件の火葬が行われたということであるが、飯南飯高管内で死亡された方のうちどの程度の方が飯南火葬場で火葬され、どの程度の方が篠田山斎場で火葬されているのか。

### 事務局

数字は掴んでいるが、今手元に資料がないので、次回の委員会で提示させていただく。

### 委員

今回の計画（案）は篠田山斎場の建て替えが主目的であると思われる。

飯南火葬場の廃止時期については、もう少し時期が迫ってから議論しても良いのではないか。

### 事務局

将来的に松阪市全域で8炉必要であると仮定した場合、飯南火葬場を残すのであれば篠田山斎場は6炉で良いのではないかということになり、篠田山斎場を建て替える際の規模にも関係してくるものと考ええる。

### 委員長

飯南火葬場の地元の住民は、本当に30年間で廃止してもらいたいという強い希望があるのか。

## 委員

地元としては、合意通りにしてもらいたいという意向である。

飯南飯高管内においても、篠田山斎場まで行けば良いという意見と、地元で火葬場があった方が良いという意見の両方あると思うが、篠田山斎場を8炉にするか6炉にするかという議論で言えば、三雲火葬場と嬉野斎場を廃止するのであれば、炉数は多い方が良いと思う。

## 委員

将来的に8炉必要であるということであれば、建物は8炉設置できるように作っておくが、当初は6炉だけ設置しておいて、条件に応じて後に2炉増設するという手法もあるのではないか。

## 委員

近年、ペットの火葬件数も増えてきており、特に単独火葬の要望も高まってきていると思う。

8炉の中に動物炉も入っているのか。

## 事務局

入っていない。

## 委員

ペットも家族であり、合同火葬ではどうかと思うので、その辺りも検討していく必要があるのではないか。

## 委員長

ペットの火葬の現状はどうなっているのか。

## 事務局

現在、篠田山斎場、嬉野斎場、飯南火葬場でペットの火葬を行っているが、篠田山斎場では件数が多いため合同火葬のみ行っており、嬉野斎場と飯南火葬場で金額に差をつけて単独火葬も行っている。

## 委員

8炉と別に動物炉も計画しているのか。

## 事務局

動物炉の設置は計画（案）にも入っているが、単独火葬に対応できるかど

うかについては、この計画（案）では検証されていない。

#### 委員長

三雲火葬場については、市街地に近いという環境にあるが、地域の住民はどう考えているのか。

#### 事務局

資料の地図でご覧いただくとおり、三雲地域から篠田山斎場に行くのも嬉野斎場に行くのもそれほど時間に差がなく、両施設とも交通の便からも比較的に利用しやすいため、地元としては廃止しても構わないという意見もあると聞いている。

#### 委員長

篠田山斎場をどうするのか議論する前に、他の3火葬場をどうしていくのか整理していく必要があるのではないかと。

それによって篠田山斎場で8炉必要になるかどうかが決まってくるのではないかと。

客観的に見て、三雲火葬場をこのまま残していくことは厳しい状況であると思うが、この委員会で三雲火葬場を廃止するか結論を出していくためには、地元の意見も重要であると思う。

#### 委員

三雲火葬場を残すとして、それだけの財源を投入できるかと言えば、かなり難しいのではないかと。

#### 委員長

三雲火葬場を建て替えた場合、どのくらいの費用がかかるか試算はあるのか。

#### 事務局

既存の施設と同規模で新設した場合、約1億5,800万円必要になるとの試算が出ている。

#### 委員

周辺は墓地になっているのか。

#### 事務局

墓地に隣接している。

## 委員

三雲火葬場の海拔は何mか。

## 事務局

海拔に関する資料は手元にないが、津波による浸水 2m 以上 5m 未満の恐れがある区域の中に入っているので、現在の場所への建て替えは考えていない。

## 委員

東日本大震災の経験上、海に近い火葬場は津波の影響を受け、当分の間火葬ができなくなってしまう恐れがあるので、廃止していくべきではないか。

技術的な面から言えば、新しい火葬場を建設する場合には、1 炉 1 系列で設計することが望ましい。

また、現在の火葬炉は 1 日 2 回転が一般的であるが、東日本大震災時には 10 回転させたことによって変形するなどして稼働できなくなった火葬炉もあったので、新設する場合にはそのことも考慮して最低 5 回転はできるように計画していくべきである。

## 委員長

篠田山斎場について、建て替えではなく火葬炉の大規模修繕によって延命化を図った場合、どのくらいの費用がかかるのか。

## 委員

以前の火葬炉は今の火葬炉の基準とは大きく違っているので、古い部品を新しくしただけで機能が最新のものになるのかと言えば、そうではない。

20 年～30 年経った火葬炉は思い切って入れ替えなければ、公害等の発生の原因にもなりかねない。

10 年程度の延命であれば、お勧めできない。

## 委員長

大規模修繕による延命化のメリット・デメリットを具体的に示してもらいたい。

## 事務局

次回委員会時に提示させていただく。

## 委員長



嬉野斎場の将来的な必要性について、地元の方はどのように考えているのか。

篠田山斎場までの距離は三雲火葬場と変わらないということであるが、三雲火葬場が篠田山斎場に統合できるなら、嬉野斎場も篠田山斎場に統合しても良いと考えているのか。

あるいは篠田山斎場に何かあった時のために嬉野斎場を残しておくべきだと考えているのか。

## 事務局

山間部以外の皆様には、篠田山斎場に行くことにご理解いただけたと思うが、山間部の皆様にとっては、篠田山斎場まではかなり距離があるので、高齢化していることもあり、嬉野斎場を残して欲しいという気持ちはあると思う。

地元としても、耐用年数が残っている間は残して欲しいという意向であると思うが、現時点では投げかけていないので、この計画が固まってきた時点で地元で投げかけていきたい。

また、嬉野斎場ではペットの単独火葬も行っており、ここ数年件数がかなり増えてきていることから、残して欲しいという要望があるものと思われる。

## 委員長

津市の斎場まで行く時間と篠田山斎場まで行く時間はどうか。

## 事務局

時間的には変わらないが、津市では市外料金となるため津市の斎場を利用される方はほとんどいない。

## 委員長

津市の斎場を使用することも視野に入れれば、嬉野斎場を廃止しても差し支えないのではないか。

金額的な面から言えば、嬉野斎場をずっと運営していくよりも、政策的な判断で津市の斎場を利用した方に一定額の助成をしていった方がより効率的ではないか。

## 委員

松阪市の火葬場では、人体の火葬が 3,000 円、ペットの単独火葬が 5,400 円となっているが、この料金設定はなぜか。

## 事務局

合併時のすり合わせによって低い金額に合わせた結果である。

ペットの単独火葬は合併当時嬉野斎場でしか行っておらず、当時の嬉野斎場の料金が現在もそのまま引き継がれている。

## 委員

火葬にかかる原価は 60,000 円程度であると言われている。

火葬料金はもっと原価に合わせていくべきではないか。

## 委員

他の自治体はどの程度の火葬料金をとっているのか。

## 事務局

県内各市の状況を調べてあるので、次回の委員会で提示させていただく。

## 委員長

他の自治体が運営している火葬場の運営形態と火葬料金について、参考資料として次回委員会に提案していただきたい。

## 委員

東京では火葬場を民間が運営しており、原価プラス利潤も含めた料金設定となっている。

周辺の自治体もそれに合わせて、東京より少し安めの料金設定ではあるが、原価以上で設定することが一般的になっている。

## 委員

火葬料金は、火葬場を運営している会社がそれぞれ設定しているのか。

## 委員

そうになっている。

## 委員長

今回の計画（案）では式場も含めて建設する案になっているが、他市の状況はどうか。

## 事務局

県内各市の火葬場で式場を併設している施設と火葬場のみの施設はだいたい半々であるが、今日は資料を持ち合わせていないので、次回の委員会で

資料を提出させていただく。

### 委員長

併せて、松阪市内に民間式場がどれくらいあるのかについても資料を提出していただきたい。

民間の式場がたくさんあるのに自治体が式場のある施設を建設すれば、民業圧迫になるのではないか。

今あるからということではなく、民間にたくさん式場がある中で新しい施設に本当に式場が必要かどうか検討していく必要がある。

### 事務局

資料を作成して次回委員会に提出する。

### 委員

市営葬儀は使用料金が民間に比べて低く設定されており、民間で葬儀をできない方の受け皿になっている部分もあるのではないか。

### 委員長

民間で葬儀を行った場合、助成金を出している自治体もある。

また、協定料金を設定している自治体もある。

これは、政策的な判断の中で検討していくべき課題である。

### 委員

式場の整備については、市独自で決めてしまうのではなく、業界との話し合いも必要ではないか。

他市において、せっかく作ったのに使われていないケースも見受けられる。

### 委員長

今日の検討委員会の中で、4箇所の子葬場それぞれの問題点は理解したが、将来的に篠田山斎場1箇所に集約していく理由について、この計画(案)の中で説明しつくされていない。

なぜ、篠田山斎場1箇所にまとめようとするのか、なぜ2箇所ではいけないのか、説明責任を果たしていく必要がある。

### 委員

篠田山霊苑は墓地公園ということで都市計画の線引きもなされており、火葬場の周囲も霊苑であること、また、敷地も市の所有であることから、ここが最も適当な場所であると考えている。

## 委員長

今日の議論の中で、嬉野斎場を廃止していくことが一番困難であろうと考えられる。

廃止していくうえにおいて、なぜ篠田山斎場に集約していくのかという説明が必要になってくる。

当委員会としても、説明のつく理由がなければ、これを了とするということにはならない。

それから、各火葬場における火葬 1 体当たりの原価がどの程度になっているか、試算してもらいたい。

今後、基本計画を策定していくうえにおいて、原価計算があって、他市との比較等市としての政治的な配慮からこの金額にするという根拠も重要になってくる。

なお、原価の算出に当たっては、減価償却を含めた場合と含めない場合について試算してもらいたい。

他に何かないか。

今回は初回ということもあり、事務局側への注文ばかりで終わることになるが、この後も何かお気づきの点があれば、直接事務局にお問合せいただきたい。

## 事務局

火葬場の建物は耐用年数 50 年であると思うが、火葬炉設備は何年で計算するべきか。

## 委員

廃棄物の例から考えれば 15 年が妥当である。

30 年～40 年使用しても修繕料を含めて考えれば、15 年～20 年で入れ替えた場合と同じ費用がかかってしまうことになる。

## 事務局

今日いただいた課題について整理し、次回委員会で資料を提出させていただく。

## 委員長

ほかになければ、今日のところはこの辺りにして、次回今日お願いした資料を提出していただいたうえで議論を進めていきたい。

## 4. その他

## 事務局

次回第2回検討委員会を7月上旬に開催したいと考えている。